



フォーサイド グループ 2021年12月期 決算説明資料

補足説明資料



2021年12月期 連結業績ハイライト

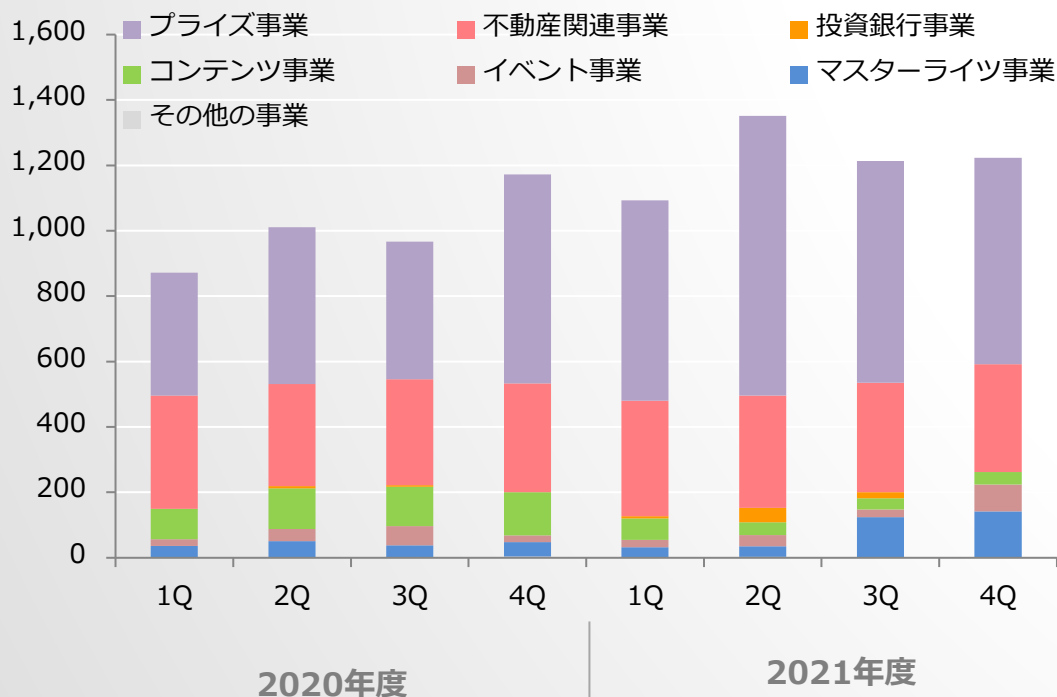
(単位：百万円)

	2020年度 通期	2021年度 通期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	4,033	4,894	121.3%	2021年12月期の営業収益は、プライズ事業が年間を通して好調に推移したことにくわえ、2021年8月1日付けで株式会社角川春樹事務所よりPopteen事業を譲り受けたこと等により、前年比121.3%と大幅な増収となった。 利益においては、営業収益の大幅な増加にくわえ、不動産関連事業での与信審査及び債権管理業務の強化に取り組んだことで、貸倒引当金繰入額が大幅に減少した結果、営業利益は187百万円、経常利益は182百万円となった。 一方、当連結会計年度において、2013年12月期及び2014年6月期の法人事業税に係る更正通知書に基づく追徴課税110,355千円を特別損失として計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、85百万円となった。
売上総利益	1,678	1,959	116.7%	
販売管理費	1,783	1,772	99.3%	
営業利益	△105	187	—	
経常利益	△49	182	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△348	85	—	

プライズ事業が年間を通して好調に推移
グループ全体でも4期ぶりの営業黒字を達成

営業収益の成長推移

(単位：百万円)



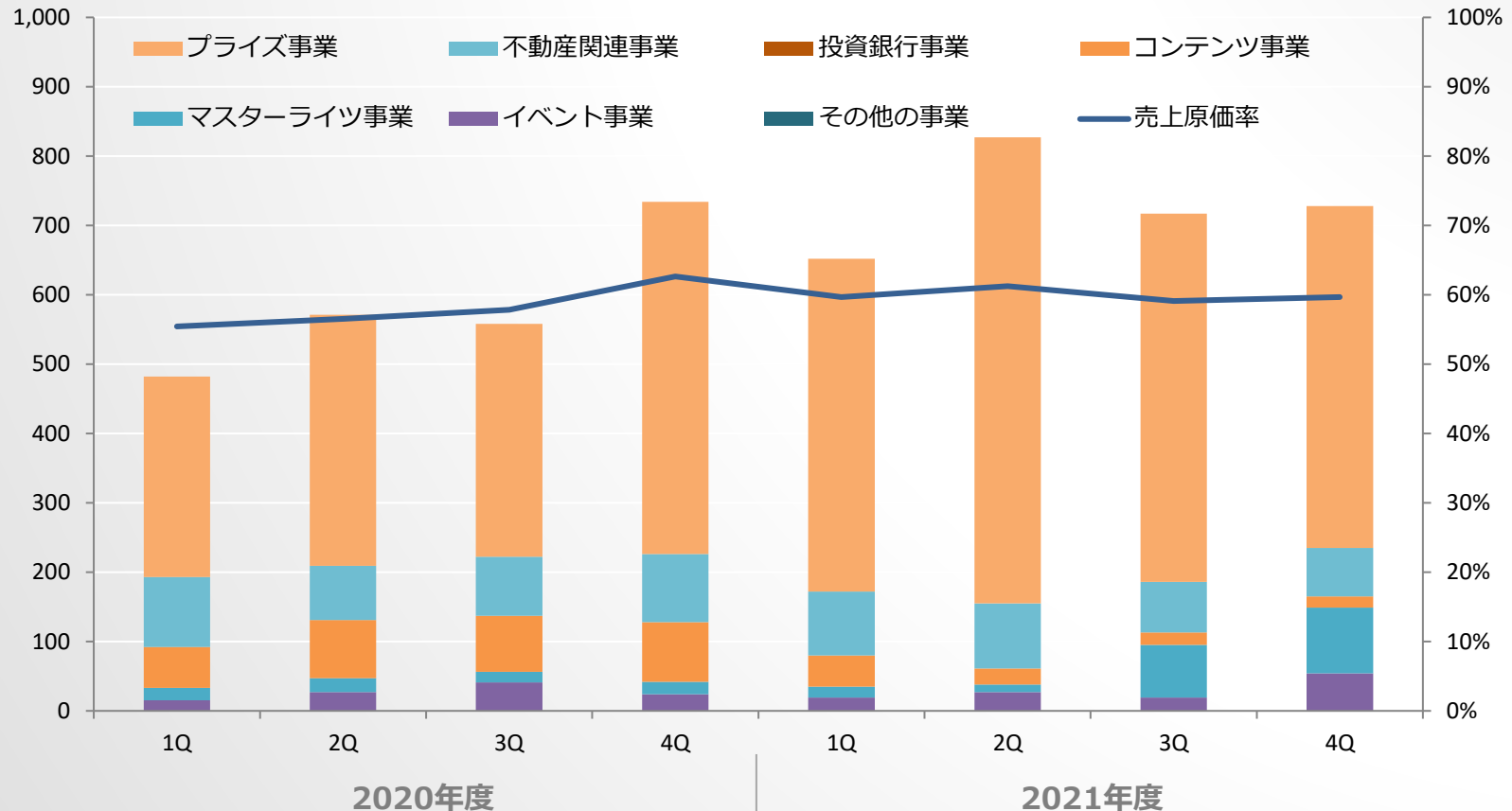
営業収益は48億円を突破！
前年比21.3 %増の高成長を達成

セグメント別の主な増減要因

プライズ事業	プライズ事業では、消費者の抑制的な行動様式が定常化される中、購買抑制が懸念されるも、プライズ景品の需要は年間を通して非常に高く推移。また、ゴールデンウィークや年末の販売の販売も好調に推移したこと等により、売上高、セグメント利益ともに、大幅な増収増益を達成。
不動産関連事業	不動産関連事業では、民法改正による家賃保証の需要増加が継続し、売上高は前年を上回って堅調に推移。また、与信審査及び債権管理業務の強化と業務の効率化に取り組み、貸倒引当金繰入額が大幅に減少したことにより、セグメント利益を確保。
投資銀行事業	投資銀行事業では、コロナ禍での企業収益の二極化が進む中、M & Aの相談件数は増加傾向にあるものの、交渉の長期化により、成約件数は低調に推移。その結果、セグメント利益の確保に至らず。
コンテンツ事業	コンテンツ事業では、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、ユーザーの継続率、単価を上げるべく、サイトのユーザビリティの向上、取扱い作品数の拡大に努める。映像制作事業は、2021年1月31日付けで本事業から撤退。電子書籍事業単体では、前年に比べ減益も、セグメント利益は確保。
マスターライセンス事業	マスターライセンス事業では、ライブハウスでの活動とオンラインでの活動を軸に、音楽事業を展開。出版事業においては、「Popteen」事業を譲り受け、読者層が小学生から高校生まで拡大。新規読者層に向けて、Youtubeを活用したアプローチを推進するも、セグメント利益の確保には至らず。
イベント事業	イベント事業では、「PSYCHOVISION hide MUSEUM Since 2000」を2021年10月に開催。一方で、多くのイベントにおいて、会期や規模を縮小する等、想定した収益を得られず、セグメント利益の確保に至らず。
その他の事業	金融事業での貸付金の回収にくわえ、フォーサイドでのコンサルティング案件の成約により、セグメント利益を確保。

売上原価の推移

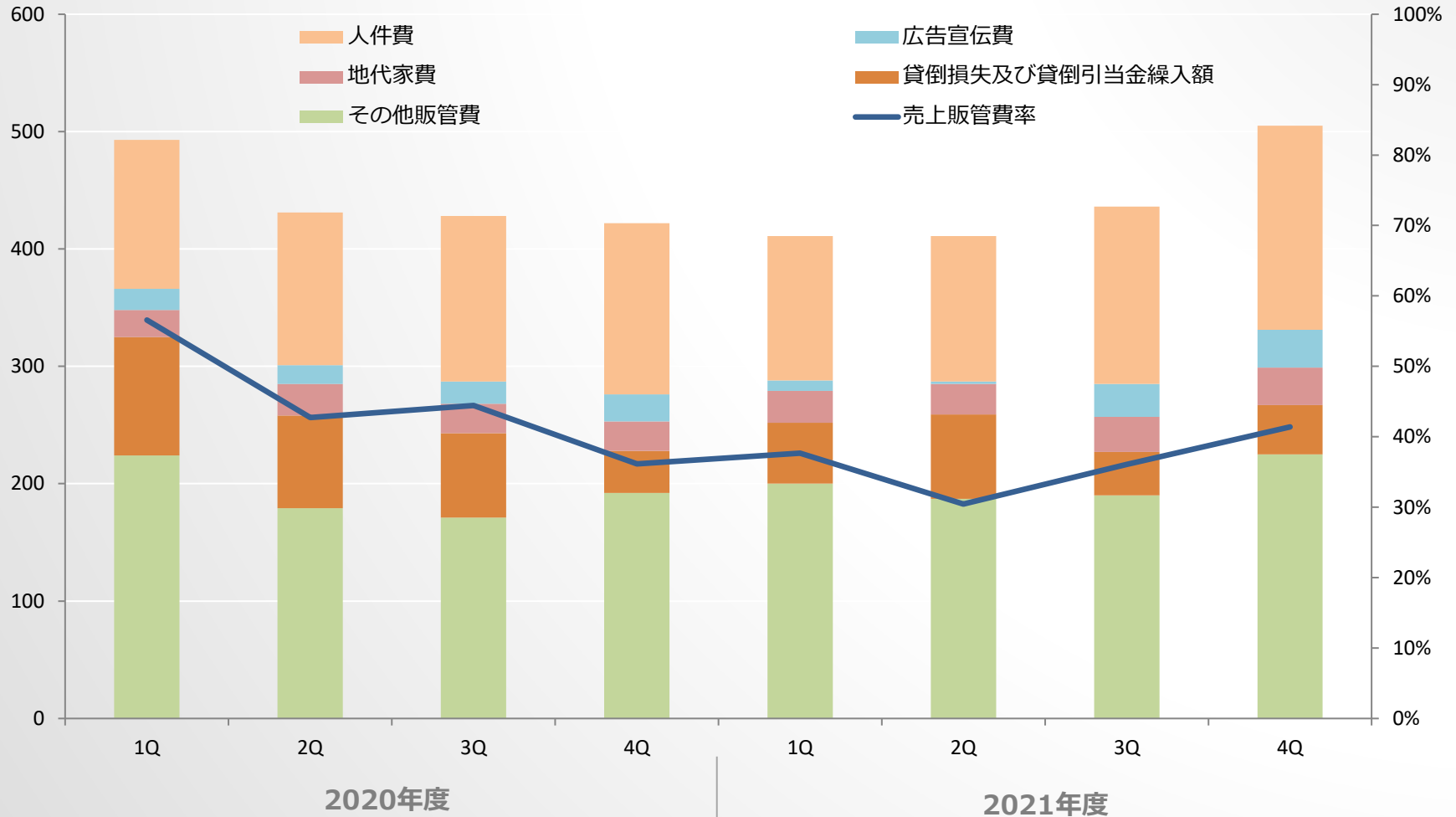
(単位：百万円)



営業収益の増加に伴い売上原価は増加
コストの削減や見直しを継続し、売上原価率は維持

販売管理費の推移

(単位：百万円)



不動産関連事業における貸倒引当金繰入額が前年比28.6%減少

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年度 12月期	2021年度 12月期	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	3,841	4,426	585	資産については、現金及び預金の増加217百万円、売掛金の増加163百万円及び投資有価証券の増加165百万円等により、前連結会計年度末に比べ585百万円の増加となった。
負 債	2,746	3,259	513	負債については、短期借入金の増加210百万円、未払金の増加117百万円及び未払法人税等の増加88百万円等により、前連結会計年度末に比べ513百万円の増加となった。
純資産	1,095	1,166	71	純資産については、親会社株主に帰属する当期純利益85百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ71百万円の増加となった。

(注) 2022年2月14日現在、発行済株式総数は32,557,704株、資本金は100百万円です。

コロナ禍において、潤沢な手元資金を確保するため、借入金は増加
当期純利益85百万円を計上し、純資産は増加



主力事業の活動展開状況

プライズ事業の展開



人気キャラクター商品を多数取り扱い、売上は大幅増収
セグメント利益も過去最高益を更新

不動産事業の展開



「滞納報告プラン」

57,610件⇒

57,378件

入居者様の家賃支払い滞納が発生した場合、オーナー様からの報告受けた時点で、オーナー様又は管理会社様へ代位弁済するサービスプランを提供。



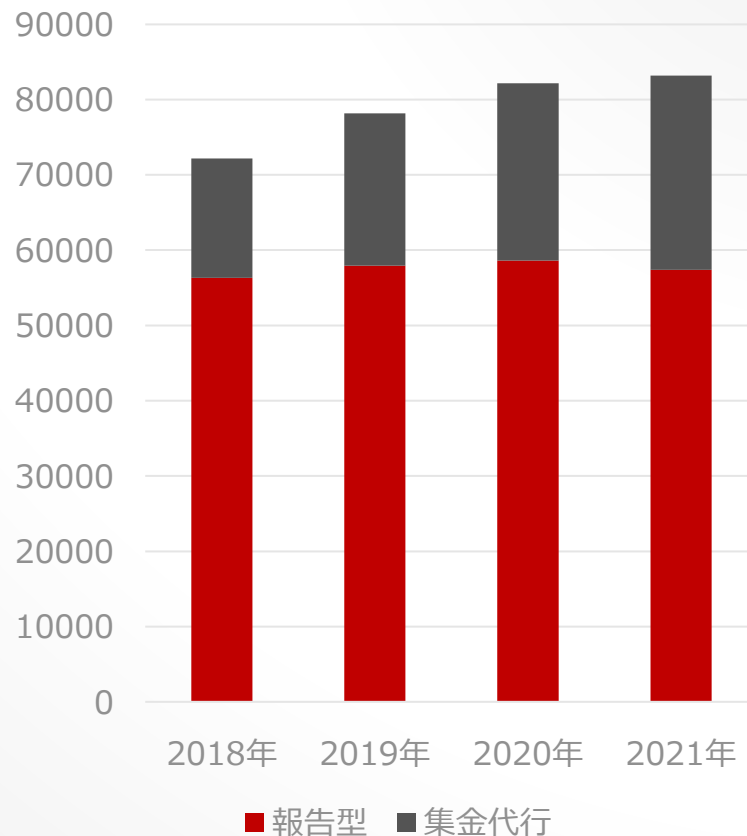
「集金代行プラン」

23,565件⇒

25,825件

金融機関と提携し賃料の集金を代行。不動産オーナー様にとって、確実な賃料収入の保証と、業務の効率UPが見込めるサービスプランを提供。

保証債務件数の成長推移



引き続き、民法改正が追い風となり売上は堅調に推移

与信審査の厳格化、債権管理業務の強化により、大幅な増益を達成

投資銀行事業の展開



A graphic with a blurred background of office workers. On the left, a dark blue box contains the word 'SERVICE' above a building icon, followed by the title '投資銀行事業' (Investment Bank Business). Below this is a paragraph of text and a button labeled '→ お問い合わせ' (Contact Us). On the right, four white circular icons are arranged in a 2x2 grid, each with a label below it: a handshake icon for 'M&A', a hand holding a coin for '資金調達' (Fundraising), a stack of money for '投資' (Investment), and a bar chart with a coin for 'ファイナンス' (Finance).

SERVICE

投資銀行事業

投資銀行事業では、M&A／資金調達／その他金融アドバイスサービスも提供し、戦略的な企業価値向上に向けたトータルサービスを提供しています。

→ お問い合わせ

M&A

資金調達

投資

ファイナンス

M&Aの相談件数は増加傾向にあるものの
交渉の長期化により、成約件数は著しく減少

マスターライセンス事業の展開



Popteenが加わったことで、読者層を高校生まで拡大
Popteenのブランド力を使い“SNSやYouTube”でのマネタイズを推進

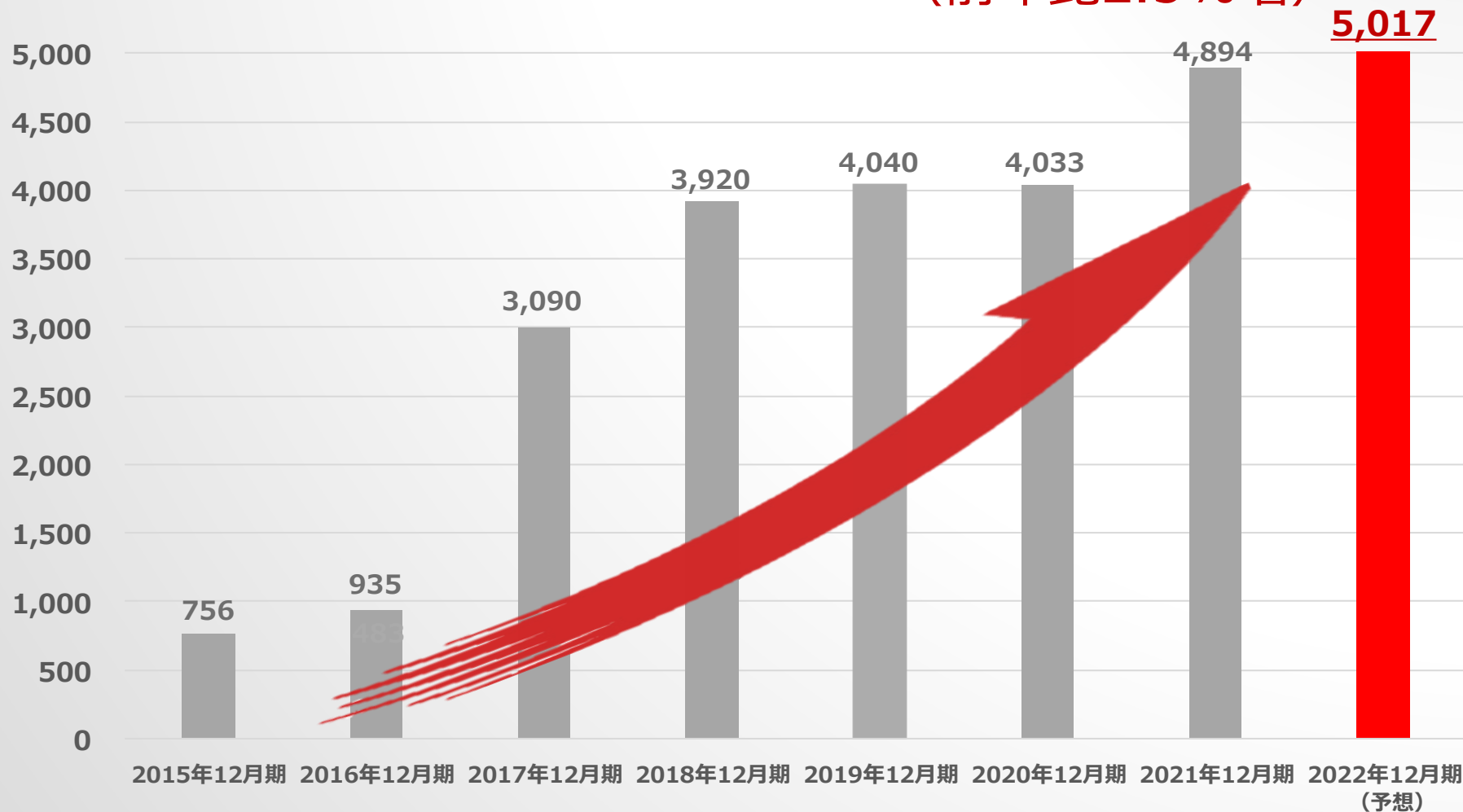


2022年12月期の業績見通し

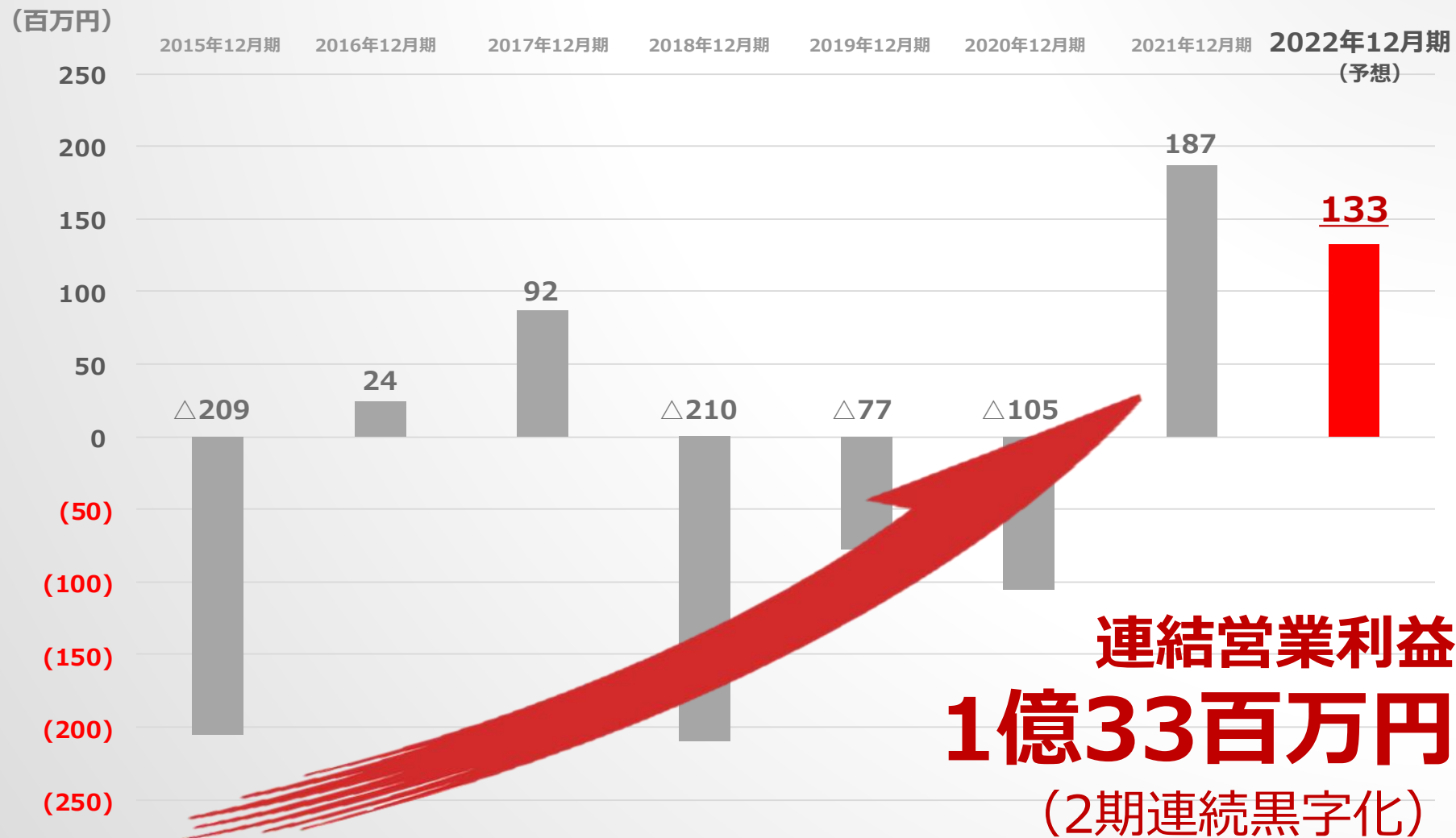
連結営業収益（通期予想）

連結営業収益50億17百万円
(前年比2.5%増)

(単位：百万円)



連結営業利益（通期予想）





参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会 社 名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所 在 地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設 立 日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資 本 金

100,000,000円 (2022年2月14日現在)

経 営 陣

代表取締役 根津 孝規 取締役会長 泉 信彦 常務取締役 飯田 潔
常務取締役 吉田 生喜 取 締 役 濱田卓二郎
監査等委員 法木 右近 監査等委員 田辺 一男 監査等委員 瀬山 剛

顧 問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事 業

・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等

主な子会社

- ・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営
- ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業
- ・(株)ポップティーン：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業、出版事業
- ※旧(株)モビぶっく (2021年7月21日付けで商号変更)
- ・フォーサイドフィナンシャルサービス(株)：M&Aのアドバイザー業務
- ・(株)マーベラスアーク：音楽関連事業
- ・フォーサイドメディア(株)：出版事業



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。